三和の軽量電動シャッター

# ブロード/ブロードアルミ/ブロードCP(負荷検知方式)

**SB10D・20D形 開閉機**

# 取扱説明書

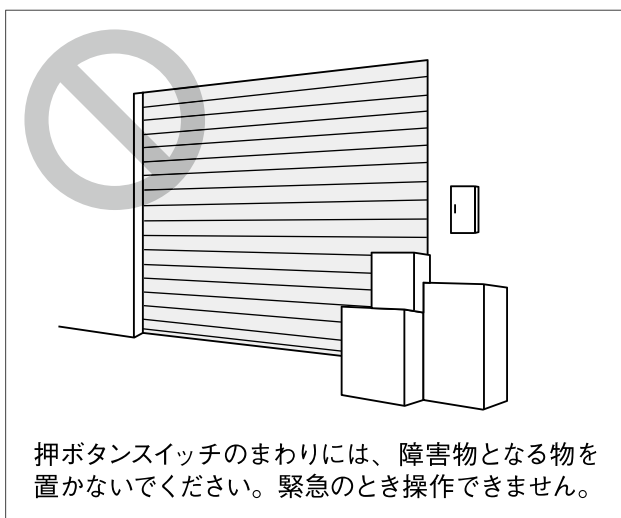
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
また、いつでもお読みいただけるよう大切に保管してください。
※建設会社・お施主様へ
**この取扱説明書は実際に使用される方へ必ずお渡しください。**

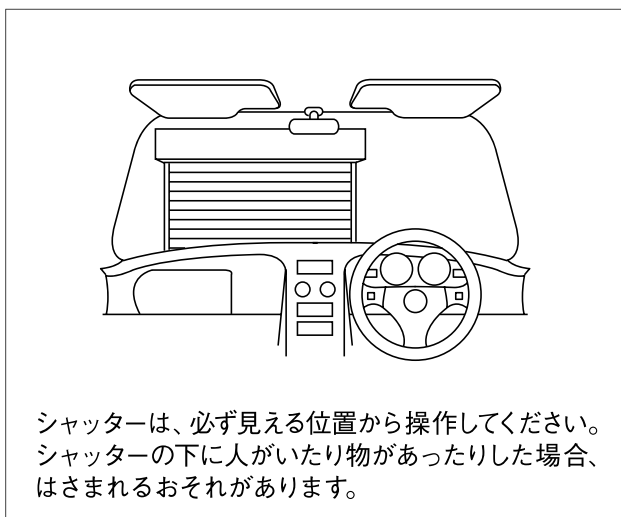
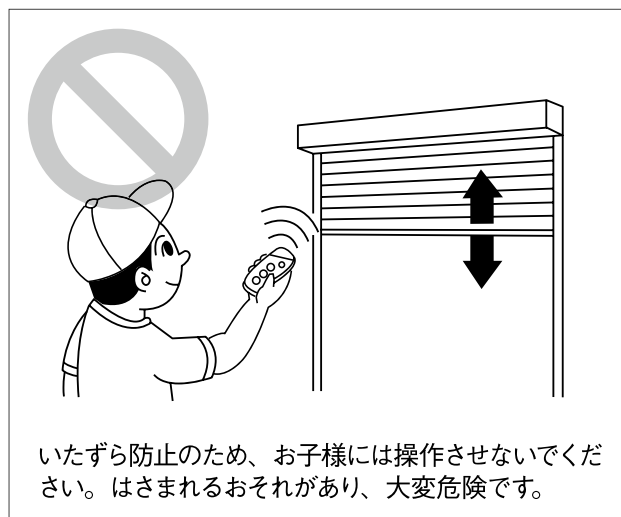
三和シヤッター工業株式会社

# ご使用上の注意

**⚠ 警告：** 次の警告事項を必ず守ってください。死亡または重傷を負う可能性があります。

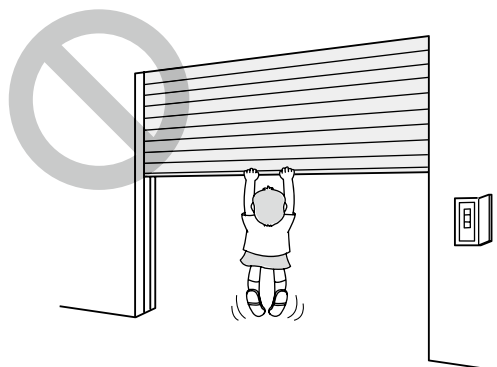
シャッター開閉中は、人や車の出入りを絶対におやめください。はさまれると危険です。

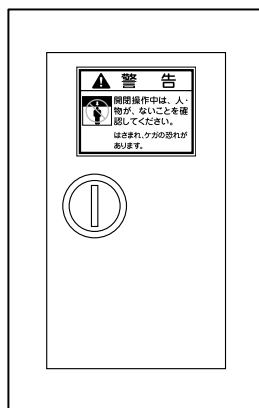
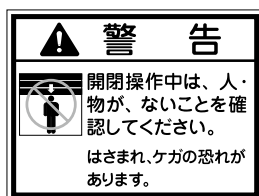
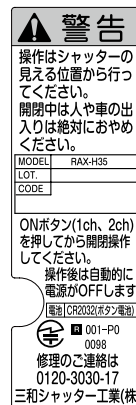
シャッターの開閉が完全に終了するまで離れないでください。緊急時の停止操作ができません。

押ボタンスイッチのまわりには、障害物となる物を置かないでください。緊急のとき操作できません。

シャッターにハシゴなどを立て掛けて作業をしないでください。シャッターが動いて転落するおそれがあります。

シャッターは、必ず見える位置から操作してください。シャッターの下に人がいたり物があったりした場合、はさまれるおそれがあります。

いたずら防止のため、お子様には操作させないでください。はさまれるおそれがあり、大変危険です。

# ご使用上の注意

**⚠ 警告：** 次の警告事項を必ず守ってください。死亡または重傷を負う可能性があります。

お尻のポケットには絶対にリモコンを入れないでください。意図せぬ誤作動やリモコンが破損するおそれがあります。

シャッターにぶらさがらないでください。はさまれたり、落下して重傷を負うおそれがあります。

当商品では、お客様に特に注意して正しくご使用いただくための「警告ラベル」を押ボタンスイッチのフタ・リモコン裏面に貼り付けています。十分ご理解のうえご使用ください。

〈押ボタンスイッチ〉

〈リモコン〉

# ご使用上の注意

**⚠ 注意：次の注意事項を必ず守ってください。軽傷を負うか、または物的損害の可能性があります。**

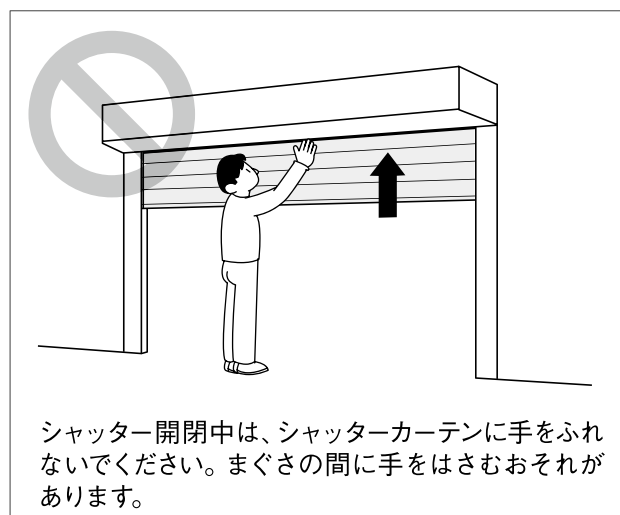
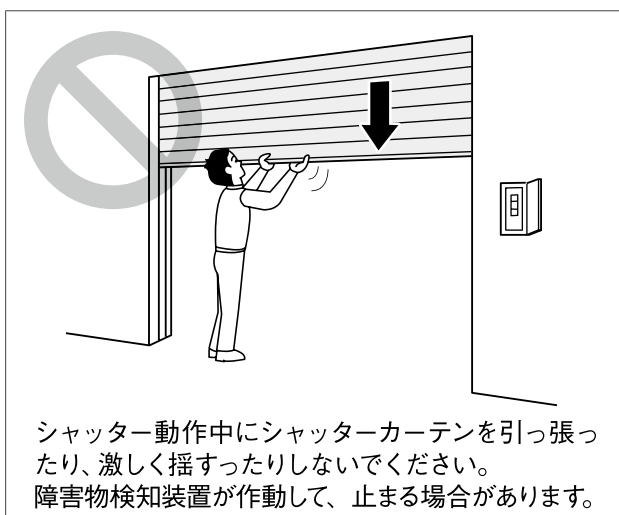
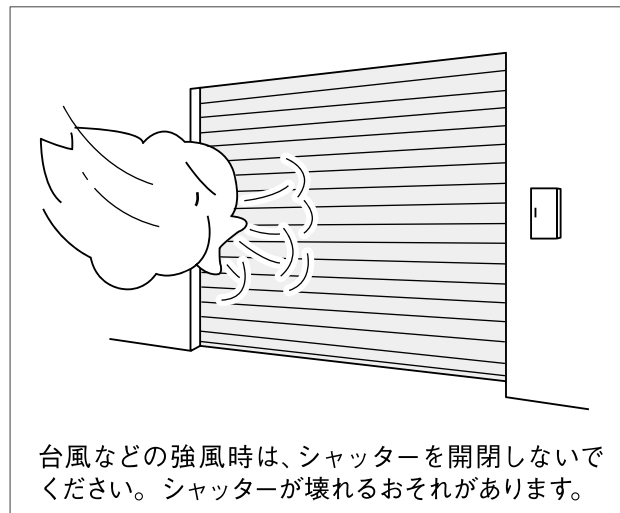
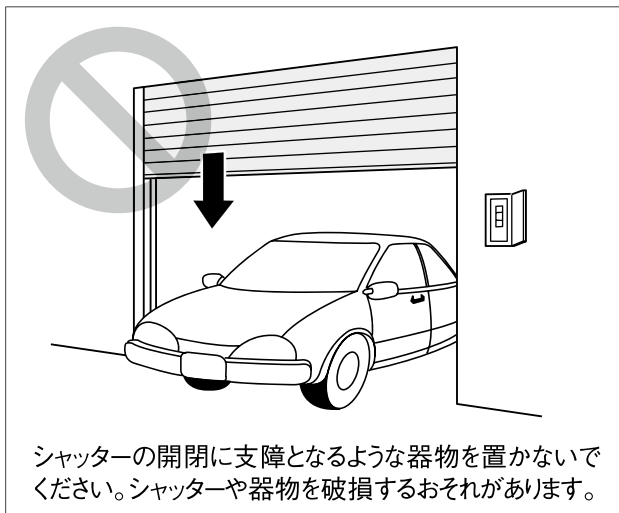
シャッターの開閉に支障となるような器物を置かないでください。シャッターや器物を破損するおそれがあります。

台風などの強風時は、シャッターを開閉しないでください。シャッターが壊れるおそれがあります。

シャッターの改造、分解は行わないでください。故障または性能低下の原因となります。

スイッチ・制御盤など、電気部品の周辺には水をかけないでください。漏電、誤作動などの故障の原因になることがあります。

シャッター動作中にシャッターカーテンを引っ張ったり、激しく揺すったりしないでください。
障害物検知装置が作動して、止まる場合があります。

シャッター開閉中は、シャッターカーテンに手をふれないでください。まぐさの間に手をはさむおそれがあります。

## ●リモコンの電池交換

リモコンの操作ボタンを押したとき、送信ランプが速く点滅する場合は電池が消耗したサインです。到達距離も短くなりますので、手順に従い電池を交換してください。
※気温が低い時は電池の消耗サインが出やすくなりますが、異常ではありません。

### ⚠ 警告

●電池の "+"、"−"を逆に入れないでください。ショートなどで電池の変形、漏液、発熱、破裂の原因となります。

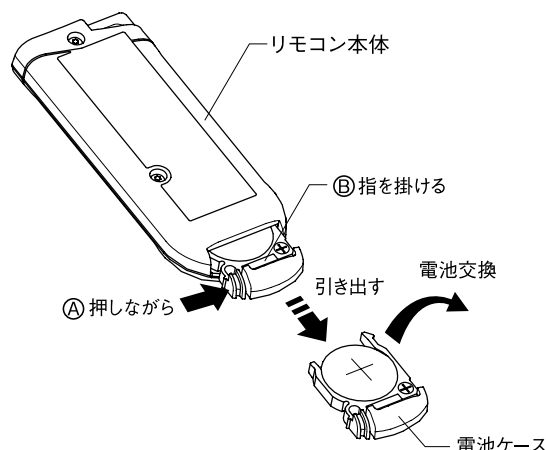
### お 願 い

下記の事項を確認してください。
●使用推奨期限の過ぎた電池を使用しないでください。
●CR2032型リチウム電池（3V）を使用してください。充電式電池は使用できません。
●通常の使用方法、1日に4回（シャッター2往復）の操作で電池の寿命は約1年です。送信ランプが速く点滅する場合は新しい電池と交換してください。
●古い電池の使用は液漏れのおそれがあり、内部回路の腐食の原因となります。腐食防止のため、定期的な電池交換をおすすめします。
●電池交換を手順どおり行わない場合は、破損するおそれがあります。
●電池交換の際は、電池のパッケージに記載されている取り扱いに関する注意事項もお読みください。
●使い終わった電池は、お住まいの自治体のルールに従って処理願います。

(1) Ⓐ 部を矢印の方向に押しながら、Ⓑ の凹部に指を掛け、電池ケースをリモコン本体から引き出してください。
※マイナスドライバーなどの工具類を使って無理にこじ開けないでください。
ケガやリモコン破損のおそれがあります。

(2) 古い電池を取り出してください。

(3) 上面が"+"になるように新しい電池をセットし、電池ケースをリモコン本体にカチッと音がするまで押し込んでください。

(4) リモコンの操作ボタンを押して、シャッターが正常に動作することを確認してください。

## ●停電時の操作

### ⚠ 警告

「緊急必要時以外」は停電復帰を待ってから電動で操作を行ってください。やむをえず手動で操作する場合は、下記の事項を確認してください。
●高い所での作業は、足場の安全を確保してから行ってください。
●点検口を開けるときに、チェーンが落下してきて頭に当たったり（チェーン式の場合）、ほこりが落ちてきて目に入ったりすることがあります。気を付けて開けてください。
●シャッター開閉中は、人や車の出入りを絶対におやめください。はさまれると危険です。
●操作中に「停電復帰」のおそれがあります。事前に制御盤のブレーカまたはシャッターの電源を切ってください。

# お 願 い

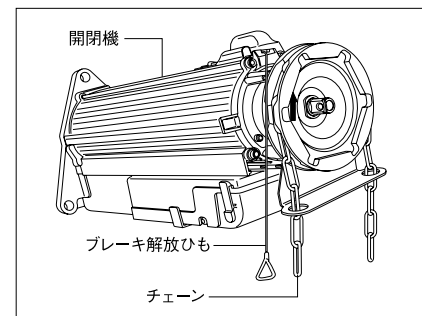
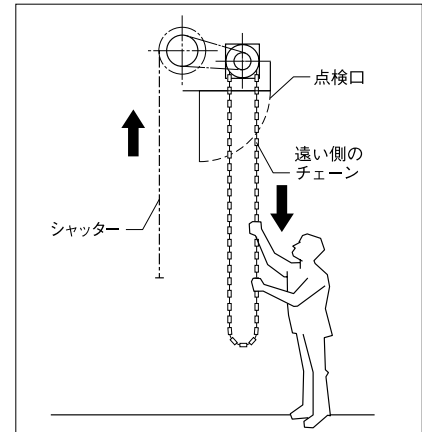
●チェーン操作時、ブレーキ解放ひもが垂れ下がっているとチェーンガイドに巻き込むおそれがあります。
●操作用具（チェーンまたはハンドル）によりシャッターを開放するときは、巻き上げ過ぎないようにしてください。無理に上限いっぱいまで開放すると、座板がシャッターケースやまぐさにあたり、故障や破損をするおそれがあります。また、閉鎖するときも下げすぎないようにしてください。故障の原因となります。
●操作終了後は、操作用具をもとの状態に戻してください。

## ■チェーン式の場合

シャッターを開放するとき

(1) 点検口を開けてください。 ※チェーンの落下に気をつけてください。
(2) チェーンを伸ばし、シャッターから遠い方のチェーンを引いてください。シャッターが上昇します。
※シャッターから近い方のチェーンは引かないでください。故障の原因になります。
(3) 任意の高さ、または上限近く（天井面やケース面より10cmくらい下）まで開放したら、チェーンを引くことをやめてください。

シャッターを閉鎖するとき

(1) 点検口を開けてください。 ※チェーンの落下に気をつけてください。
(2) ブレーキ解放ひもを引くとシャッターが下降します。
(3) 任意の高さ、または床面に接したら、ブレーキ解放ひもを引くことをやめてください。

## ■ハンドル式の場合

シャッターを開放するとき

(1) 点検口を開けてください。
(2) ハンドルとシャッターの位置を確認してください。
【ハンドル側から見てシャッターが左にあるとき】（本図）
：ハンドルを右に回してください。シャッターが上昇します。
【ハンドル側から見てシャッターが右にあるとき】
：ハンドルを左に回してください。シャッターが上昇します。
※点検口の枠に手が当たらないよう、注意してハンドルを回してください。
※ハンドルを逆方向に回さないでください。故障の原因になります。
(3) 任意の高さ、または上限近く（天井面やケース面より10cmくらい下）まで開放したら、ハンドルを回すことをやめてください。

シャッターを閉鎖するとき

(1) 点検口を開けてください。
(2) ブレーキ解放ひもを引くとシャッターが下降します。
※ブレーキ解放ひもはチェーン式と共通です。
(3) 任意の高さ、または床面に接したら、ブレーキ解放ひもを引くことをやめてください。